

季節のおはなし・旅だより

この度各地で相次いだ線状降水帯による被害を受けられました方々に心よりお見舞い申し上げます。
被災地域の1日も早い復旧をお祈り申し上げます



号

空を見上げると、真っ白な入道雲！夏も本番ですね

8月は海や山、避暑地やお花畠など、
絶景スポットが目白押しの季節です

今年は4年ぶりに花火大会が開催されるところもあり
お出かけしてリフレッシュされる方も多いと思います。

熱中症や夏バテに気を付けて 素敵な夏をお過ごしください



葉月

月の別名は葉月 日本では 8 月というとまだ夏の暑い盛りの頃だが、
旧暦では秋にあたり、「木々の葉が落ち始める月」を略して葉月となったといわれています。

8 月といえば「お盆」。うれしいことや楽しいことが重なったときに、
日本では「盆と正月が一緒に来たようだ」という表現を使いますよね。
日本人にとってお盆は、それくらい大切な行事なのです。

お盆というと、お盆休みを思い浮かべる人も多いでしょう。
お盆休みは 8 月 13 日～16 日ぐらいが一般的ですが
本来のお盆は、先祖の精霊をお迎えして供養する期間のことを指します。

地域によってお盆の期間が異なる理由

旧暦…明治時代で新暦に変わるまで使用されていた暦

新暦…明治 5 年から現在にいたるまで使われている暦

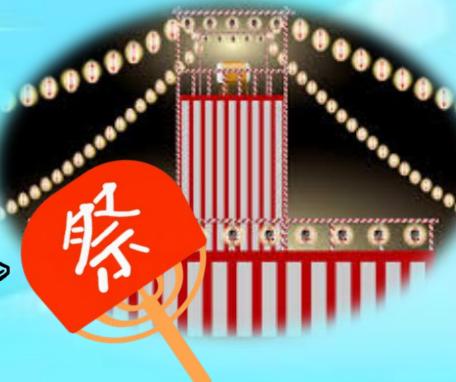
東京をはじめとする一部地域では、7 月 13 日～16 日の 4 日間

(7 月盆)で行われます。また、東京の多摩地区では 7 月 31 日～8 月 2 日

沖縄県では 8 月中旬～9 月上旬に行う場合もあります

お盆の過ごし方やすべきこと

お盆期間中は、ご先祖様を供養するために過ごします。法要はもちろん、お墓参りで
お供え物をすることも、盆踊りで踊りを奉納することも、お盆の正しい過ごし方です。
国の重要無形民俗文化財となっている長野県の「新野の盆踊り」、映画のモチーフにもなった
富山県の「おわら風の盆」など、日本全国に一生に一度は見たい盆踊りや夏祭りがいくつも
あります。



お盆が祝日ではないのに休みになる理由

お盆自体は祝日ではないにも関わらず、多くの企業がお盆を休日に指定しています。
これは、江戸時代に存在していた、「藪入り(やぶいり)」と呼ばれる、夏時期に帰省する
風習が受け継がれたことが理由とされています。

藪入りは、住み込み奉公をしている奉公人が、お正月とお盆の 16 日前後に休みをとって
実家に帰ることができるという習慣で、現代においても年末年始・夏時期の帰省として
残っています。特に、夏時期の帰省はお盆の風習と結びついたことで、家族や親族が揃って
ご先祖様の供養を行う風習として根付きました。



お盆の正式名称である「盂蘭盆会(うらばんえ)」は、

仏教の「盂蘭盆經(うらばんきょう)」というお経に由来しているとされています。

盂蘭盆經の「盂蘭盆(うらばん)」は、サンスクリット語の「ウラバンナ(逆さ吊り)」が起源。

お釈迦様の弟子の1人、目連(もくれん)にまつわる言い伝えを表しているのです。

その言い伝えとは、亡き母が地獄で逆さ吊りの刑を受けていることを知った目連が、母親を救済する方法をお釈迦様から聞くというもの。お釈迦様の教えが「(旧暦)7 月 15 日に供養する」というものだったことから、
現在のお盆の風習が始まったとされています。

盆踊りは、お盆の時期にお迎えしたご先祖様の靈をもてなし、一緒に過ごして送り出す
行事です。ただの踊りではなく神聖な行事です。

盆踊りの由来は、仏教の「念佛踊り」だとされています。この念佛踊りとは、自分自身で
念佛を唱えながら踊るもので、後に踊る人と念佛を唱える人が分かれた「踊り念佛」に
発展…これらの民俗芸能がお盆と結びつき、現代の盆踊りになります。お盆にちなみ
8 月 15 日に踊って、16 日にご先祖様の靈を送り出すという流れで
およそ 500 年の歴史を持つ厳かな行事の 1 つといえます。



日本三大盆踊り

阿波踊り(徳島) 西馬音内(秋田) 郡上踊り(岐阜)

ノーモア・ヒロshima



祈りの日

2023年8月6日

8月6日、平和記念式典が開催された夕刻に
平和を願う灯籠が元安川で流されます。
今年は **G7 広島サミット** の影響もあり、例年以上に
大変込み合うことが予想されています

被爆から78年、今年広島では、G7 サミットが開催されました。首脳たちが被爆の実相に触れることができたと評価する声がある一方で、被爆者や核廃絶に取り組んできた市民は、「核なき世界」に向けた具体的な一歩が示されず、むしろ核抑止力を肯定した内容になったと批判を強めています。ロシアによるウクライナ侵攻、ベラルーシに戦術核兵器の配備が進められるなど、世界の“核”を巡る状況はさらに緊張の度合いを高めており、これから広島はどんなメッセージを発していくのか？またサミットで、核廃絶を「究極の理想」とした議長国・日本は、今後どう取り組みを進めていくのか…？注目されます。

G7 HIROSHIMA 2023 で使用された Nakayama Premium Bus



G7広島サミット・各首脳が世界遺産の島・宮島を訪問したことでも注目

日本三景の1つでもある宮島「厳島神社」

海を敷地とした独創的な建築様式

社殿は、安芸守となつた平清盛によって平安時代末期に修造されたもの。

当時としてはめずらしい、平安貴族の邸宅様式だった寝殿造りを神社に用いており

1996年にはユネスコの世界文化遺産にも登録されました。



世界遺産 安芸の宮島

日本で唯一、潮の満ち引きのある場所に建つ寝殿造りの社殿群と大鳥居から成る厳島神社
御本社を中心とする左右の回廊でつながる客神社、天神社、能舞台などが、
背景に広がる自然と調和したまるで絵を見るような美しさ
その華やかで神秘的な建築美は訪れる人々を魅了しています

神が宿る島といわれている「宮島」には、
宮島表参道商店街を中心に
美味しいグルメが豊富に揃っています

牡蠣にアナゴに広島風お好み焼き…

もみじ饅頭は広島県を代表するお土産として、

全国的にも知名度が高く人気

その、もみじまんじゅうを天ぷらにした

「揚げもみじ」は外はサクサク、中はアツアツで

もっちりの不思議食感が絶妙な仕上がり

美味(o^-^o)ニコ♥♥♥♥



G7各首脳方にご乗車頂き宮島島内を走行した
Nakayama Premium Bus

「神を斎(いつ)き祀(まつ)る島」という語源のように、
古くから島そのものが神として信仰されていたという厳島(宮島)
その海上に神秘的に建っている厳島神社は平家繁栄を物語る海上社殿
宮島全体が神と捉えられていたため、木を切ったり土を削ることで
「ご神体」を傷つけないようにと潮の満ち引きのある場所に造られたと
いわれています。古代から瀬戸内海の安全を祈願する参詣者が多く訪れ、
江戸時代には伊勢詣、四国遍路と並んで西国の民衆の代表的な
参詣地として流行したようです。



竜宮城のような優美さ



まるで海の上に浮かんでいるかのよう！厳島神社のシンボル大鳥居
スギとクスノキでできていて、なんと現鳥居は平清盛の造営時から
数えて8代目。海にそびえる大鳥居は、一度は見る価値のある場所
3年半にわたる「令和の大改修」で、鮮やかな色に蘇り、
一段とその存在感が増しました。

こちらの大鳥居は、奈良の春日大社や
敦賀の氣比神宮の大鳥居と共に「日本三大鳥居」に数えられ
干潮時には鳥居の下まで歩いていくことができます。



8月15日 先の大戦から78回目の終戦の日

8月15日は日本人にとって特別な一日です

今年は、5月に開催されたG7サミットで、「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」が発表され、

日本は唯一の戦争被爆国として広島から平和を発信しました。

その一方で、ウクライナ戦争や大量破壊兵器の使用リスクの高まりなど危機を伝えるニュースが頻繁に流れている状況です。

遠い戦地で命を失った兵士の皆様、家族を失い、極貧の中、必死に戦後の復旧を進めて下さった方々…

先祖の皆様の気持ちに報いるには、二度と同じ戦禍を繰り返さないことです。

広島、長崎に原爆が投下された日、終戦の日は、原爆死没者ならびに戦没者の靈を慰め、

世界の平和を祈るために黙とうをして 78年前亡くなられた方々を悼み、

あらためて平和について考えてみましょう

広島原爆の日 8月6日 8時15日 平和の鐘

長崎原爆の日 8月9日 11時2分 平和の鐘

終戦記念日 8月15日 正午 時報

8月15日は「終戦の日」です。

1945年の8月15日、日本が無条件降伏をしたことで、第二次世界大戦が終結しました。戦争が終わった日として「終戦記念日」、追悼と平和への意志を込めて「戦没者を追悼し平和を祈念する日」とも呼ばれています。

日本での「終戦の日」は8月15日ですが、

世界的に統一されているわけではありません

たとえばアメリカでは、日本がポツダム宣言の降伏文書に調印した9月2日を「対日戦勝記念日 (Victory over Japan Day)」としています。

原爆が落とされた都市として世界に名前が知られている長崎。

8月9日は長崎にとって、そして世界にとっても忘れてはいけない歴史が刻まれた日です。長崎市にある平和公園エリアは、修学旅行や平和学習などで外せない学びの地として多くの方が訪れます。

平和祈念像の天高く手を上げ指をさす右手は「原爆の脅威」を、水平に伸ばした左手は「平和」を、

軽く閉じたまぶたは「原爆犠牲者の冥福を祈る」という想いが込められています

8月9日 長崎の日

先月も中山観光自動車は数多くお仕事のご依頼を頂き
海に山に温泉地から高校野球の応援や部活動等の送迎にと
観光地をはじめ様々な場所を駆け抜けて参りました。

業者様をはじめお客様にはご利用・ご乗車頂き、
誠にありがとうございました。

これからも安心・安全・快適な旅を楽しんでください。

